

校 訓：人のお世話にならぬよう、人のお世話をするよう、そして報いを求めぬよう
学校教育目標：自ら学び、心豊かにたくましく生きる七塚っ子の育成



薫 陶

学校だより くんとう

6月号 令和6年5月28日

七塚小学校長 稲垣 優子



七塚小HP QR コード

6月

生き生きと表現する子供たち～校外活動、体験活動を通して～



もうすぐ6月、今年度がスタートして2カ月を迎えようとしています。今年度の重点「主体的に考え、表現する児童の育成」に沿った学習が進み生き生きと活動する子供たちの様子が見られます。

6年生は先日、2泊3日の宿泊体験学習に出かけました。「最高の絆」という目標のもと自分から考えて動く姿が見られ、所の職員の方や他の小学校の先生方からもお褒めの言葉をいただきました。5年生は、総合的な学習でSDGsをテーマに学習しています。自分たちで「会社」を立ち上げ、地引網でとれた魚をスーパーのどんたくさんのご厚意で販売させていただき、その収益を能登で被災された方々に寄付しようと活動しています。4年生は器械運動交歓会に出場するため、練習を重ねています。また3年生はモンシロチョウや草花を育てながら生き物の不思議さに触れています。2年生は生活科の学習で、ミニトマトやナス、キュウリなどを一生懸命育てています。ようやく学校生活に慣れてきた1年生は、アサガオの種をまき、やっと芽が出てきた鉢植えに、毎日水をあげて育てています。

様々な活動を通して、子供たちには地域や自然の素晴らしさを再発見し、自分が多くの方に支えられていることを改めて感じてほしいと願っています。今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



6年 宿泊体験学習



4年
器械運動
交歓会練習



3年 海浜清掃活動

音読の効果とは？ ～得られることや効果を上げる方法を調べてみました～

音読は、学力向上に非常に効果的です。とはいえ、どんな効果があるのか分からず、毎日の音読の宿題に疲れてしまっているお子さまもいらっしゃるのではないのでしょうか。そこで、音読の効果、おすすめの音読法、効果を高めるコツまでご紹介します。

音読は学力向上のために必要な勉強法です

文章を声に出して読む音読を行うことで、黙読では理解できなかった文章が理解しやすくなります。大人でも、取扱説明書や契約書などの難解な内容も、声に出して読むことで頭が整理されたという実感があるのではないのでしょうか。

また、音読をすることで脳の前頭前野が活性化されます。これにより、記憶力や判断力を高める効果があると言われています。さらには、前頭前野が活性化されることでセロトニンも分泌されます。そのため、興奮をおさえ、集中力を発揮する効果も得られます。つまり、音読は脳の働きの面から見ても、学力向上に非常に効果的な勉強法。上手に取り入れていきましょう。

小学校の宿題に音読が出る理由

- 【1:内容理解を高めるため】
- 【2:読解力を高めるため】
- 【3:リズムをつかみ、テンポ良く日本語を話すための練習】
- 【4:大きな声で読む練習】
- 【5:黙読の練習として】

音読で得られる効果7つ

- 【1:脳の活性化により記憶力が向上する】
- 【2:語彙力・読解力の向上】
- 【3:黙読が速くなる】
- 【4:勉強意欲が高まる】
- 【5:気持ちが落ち着き、ストレス軽減】
- 【6:コミュニケーション力の向上】
- 【7:自制心が育つ】



音読の効果を上げる方法6選

- 【1:朝に音読する】
- 【2:上手に読めなくても叱らない】
- 【3:毎日音読する】
- 【4:読む文章を定期的に変える】
- 【5:集中できない場合は耳栓やヘッドフォンをする】
- 【6:徐々に音読スピードを上げる】



参考：ベネッセ 教育情報サイト

